

# 第 1 6 回 制度設計専門会合 事務局提出資料

～卸電力取引の活性化の進め方について～

平成 2 9 年 3 月 3 1 日 (金)



電力・ガス取引監視等委員会  
Electricity and Gas Market Surveillance Commission

# 本日の議題

- グロスビディング開始に向けた準備状況

# グロスビディング準備状況等のアンケート（サマリー）

- 第13回制度設計専門会合にて、旧一般電気事業者によるグロスビディングの取組についての表明が出された。その後の準備状況や出てきた課題を確認したところ、概ね当初の表明とおりの進捗状況との回答を得た。

①表明内容からの変更の有無

②表明内容から具体化した内容（あれば）

③変更がある場合の理由と対応策

	①表明内容からの変更の有無	②表明内容から具体化した内容（あれば）	③変更がある場合の理由と対応策
北海道電力	各社とも「無し」との回答	4月のGB開始に向け、システム改修は予定どおり進捗。	各社ともに問③に対する回答はなし
東北電力		グロスビディングを円滑に実施するための取引システム開発を進めている。	
東京電力 エナジー パートナー		表明後、システム改修の検討を経て、現時点では本年6月末に改修が完了する見込み。	
中部電力		会計・税務処理を踏まえた自社帳票等のシステム改修が残っている状況。	
北陸電力		2017年4月からの取引開始に向け取引支援システムを改修中（予定通りの進捗）。	
関西電力		平成29年度第一四半期中に開始できるよう、システム開発を進めている。	
中国電力		表明後のシステム改修の検討を経て、現時点では本年6月末頃に改修が完了する見込み。	
四国電力		自社火力の一部を対象に恒常的に売り入札を行う方向で検討中。	
九州電力		入札方法等について具体的な検討実施中。4月からの実施に向けシステム準備中。	

# 各社からのグロスビディングに係るアンケートの回答（サマリー）

北海道電力	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成29年4月を目標にグロスビディングを開始し、売り入札量全体で平成29年度末までに販売電力量の10%程度の入札を目指す。</li> <li>需給運用面や経済性等の実務上の問題が無いことを検証しつつ、平成31年度末までに販売電力量の30%程度の入札を目指す。</li> <li>限界費用ベースでの買い入札を基本としつつ、供給力が不足するおそれがある場合は高値買い戻しを行う。</li> </ul>
東北電力	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成29年度第1四半期を目途に、実運用面での問題がないことを確認しつつ、ネットビディングと合わせ年度末に自社販売電力量の10%程度の入札量を目指す。その後も段階的に量を増やし、20%程度の入札量を目指す（時期未定）。</li> <li>供給力は不足する恐れのある局面では高値、それ以外は限界費用ベースで買い入札を行う。</li> </ul>
東京電力 エナジー パートナー	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成29年4月以降、経済合理性が損なわれる等の支障がないことを確認しつつ、売り入札量として平成29年度末に販売電力量の10%超を目指し、平成30年度末に向けて20%程度への増量を目指す。基本的には、限界費用ベースで買い入札を行い、必要な供給力が不足する局面においては確実に買い戻せる価格で入札。売り入札については確実に約定させる観点を踏まえ設定。</li> </ul>
中部電力	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成29年4月以降、自社供給力への影響や経済性等をみつ、平成29年度内に販売電力量の10%程度の売り入札を目標とする。その後、平成30年度内にさらなる増量を目指す（目標とする量は不明）。</li> <li>約定量を増加させる目的での安値売り／安定供給・経済合理性を前提とした上での限界費用ベースでの買い。</li> </ul>
北陸電力	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成29年4月から試行的に運用を開始。買いブロック入札導入後徐々に量を拡大、1年程度で販売電力量の10%以上の売り入札量を目指す。その後需給運用面や実務面の問題等を確認しつつ、できるだけ早期に20～30%の売り入札量を目指す（時期未定）。</li> <li>限界費用ベースでの買い入札。供給力が不足する局面においては、相当量を高値で買い戻し。</li> </ul>
関西電力	<ul style="list-style-type: none"> <li>一連の懸念事項が解消されることを前提にシステム対応が完了し次第、平成29年度第一四半期を目処に開始。開始後一年程度を目途に、グロスビディング等を活用し、年間販売量の20%程度を卸市場に投入することを目指す。</li> <li>経済合理性に基づき、原則として限界費用ベースでの取引を実施。</li> </ul>
中国電力	<ul style="list-style-type: none"> <li>買いブロック入札の開始（平成29年5月目途）に合わせ、ネットビディング分を段階的にグロスビディングに移行。平成29年度末時点を目途に、売り入札量を自社販売電力量の1割程度まで増やす。平成30年度内に販売電力量の2割程度まで拡大を目指す。</li> <li>余力がある場合は限界費用ベースでの買い入札。余力が無い場合は、供給力が不足する部分は確実な買い戻しを行う。</li> </ul>
四国電力	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成29年4月から安定供給・経済性での問題がないことを確認しつつ、平成29年度末時点で販売電力量の1割程度の取引量を目指す。その後遅くとも平成32年度には売り約定量全体で販売電力量の3割程度の規模まで拡大することを目指す。</li> <li>供給力が確保できている場合は限界費用ベースで買い入札。供給力が不足する場合は、高値での買い戻し。</li> </ul>
九州電力	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成29年4月を目途に開始し、開始後1年程度を目途に、販売電力量の1割程度の売り入札を目指す。他の活性化策の進展状況等もみつ、開始後3年程度を目途に販売電力量の3割程度へ拡大。</li> <li>限界費用ベースでの売り入札／買い入札。供給力が不足する局面においては供給力確保義務を果たすため高値での買い戻しもある。</li> </ul>

# グロスビディング準備状況等のアンケート（北海道電力）

① 第13回制度設計専門会合において表明した内容から変更の有無（※無であれば②へ）

・変更は、ありません。

② 第13回制度設計専門会合において表明した内容から具体化した内容（あれば）

・4月のGB開始に向け、システム改修は予定どおり進んでおります。

③ 上記①において変更がある場合はその理由と対応策

# グロスビディング準備状況等のアンケート（東北電力）

① 第13回制度設計専門会合において表明した内容から変更の有無（※無であれば②へ）

・特にございません

② 第13回制度設計専門会合において表明した内容から具体化した内容（あれば）

・グロスビディングを円滑に実施するための取引システム開発を進めております

③ 上記①において変更がある場合はその理由と対応策

# グロスビディング準備状況等のアンケート（東京電力エナジーパートナー）

① 第13回制度設計専門会合において表明した内容から変更の有無（※無であれば②へ）

- ・ 現時点では特段の変更無し。

② 第13回制度設計専門会合において表明した内容から具体化した内容（あれば）

- ・ 第13回制度設計専門会合において「H29年4月以降、システム改修等の応札準備が整い次第開始」と表明したところ。その後、システム改修の検討を進めた結果、現時点では本年6月末にシステム改修が完了する見込みとなっており、システム改修後速やかにグロスビディングを開始予定。

③ 上記①において変更がある場合はその理由と対応策

# グロスビディング準備状況等のアンケート（中部電力）

①第13回制度設計専門会合において表明した内容から変更の有無（※無であれば②へ）

変更なし

②第13回制度設計専門会合において表明した内容から具体化した内容（あれば）

➤ システム対応については、会計・税務処理を踏まえた約定結果・清算に関する自社帳票等のシステム改修が残っている状況。

③上記①において変更がある場合はその理由と対応策

---

# グロスビディング準備状況等のアンケート（北陸電力）

①第13回制度設計専門会合において表明した内容から変更の有無（※無であれば②へ）

・無

②第13回制度設計専門会合において表明した内容から具体化した内容（あれば）

- ・ 2017年4月からの取引開始に向け取引支援システムを改修中。  
現時点では、予定通り改修が進んでいる。

③上記①において変更がある場合はその理由と対応策

# グロスビディング準備状況等のアンケート（関西電力）

① 第13回制度設計専門会合において表明した内容から変更の有無（※無であれば②へ）

現時点ではございません。

② 第13回制度設計専門会合において表明した内容から具体化した内容（あれば）

平成29年度第一四半期中に開始できるよう、グロスビディング実施にあたっての詳細手順を協議しつつ、鋭意システム開発に努めております。システム開発の終了目処がついていないため、現時点では、前回表明時からさらに具体的な時期を表明できる段階にはございません。

③ 上記①において変更がある場合はその理由と対応策

# グロスビディング準備状況等のアンケート（中国電力）

①第13回制度設計専門会合において表明した内容から変更の有無（※無であれば②へ）

・変更ありません。

②第13回制度設計専門会合において表明した内容から具体化した内容（あれば）

・グロスビディングの開始時期について、「買いブロック商品導入（平成29年5月目途）に合わせて自社取引システムを改良し、現在実施している余力の売り入札（ネットビディング分）を段階的にグロスビディングに移行」と表明しておりますが、その後メーカーと詳細検討を進めた結果、システム改修の完了時期は、現時点では6月末頃となる見込みです。

③上記①において変更がある場合はその理由と対応策

・なし。

# グロスビディング準備状況等のアンケート（四国電力）

① 第13回制度設計専門会合において表明した内容から変更の有無（※無であれば②へ）

変更なし

② 第13回制度設計専門会合において表明した内容から具体化した内容（あれば）

自社火力の一部を対象に、恒常的に売り入札を行う方向で検討中

③ 上記①において変更がある場合はその理由と対応策

# グロスビディング準備状況等のアンケート（九州電力）

① 第13回制度設計専門会合において表明した内容から変更の有無（※無であれば②へ）

特段の変更はありません。

② 第13回制度設計専門会合において表明した内容から具体化した内容（あれば）

入札手法等について具体的な検討を行っているところです。  
併せて、4月からの実施に向けて、社内システムの準備を進めています。

③ 上記①において変更がある場合はその理由と対応策